

近年の重要害虫の発生状況やその対策をテーマに銚田市農業三士交流会が開催されました

令和7年1月23日(木)に、ホテルニュー麻生において、銚田市長ご臨席のもと、近年における重要害虫の発生状況やその対策をテーマに、茨城県農業経営士協会鹿行支部銚田分会主催で、銚田市農業三士交流会が開催されました。農業三士(農業経営士(元OBも含む)、女性農業士、青年農業士)、銚田市職員、普及センター職員など計26名参加しました。

メイン講演として、県園芸研究所佐藤主任研究員より、「近年におけるコナジラミ類、ヤガ類の発生状況と今後の対策について」と題した講演をいただき、トマトの害虫コナジラミ類の天敵タバコカスミカメを用いた防除に関する研究結果や黄化葉巻病の防除対策のほか、ヤガ類の特徴や防除のポイントなど参考になるお話をいただきました。

また、農業経営士からは、ピーマンにおいて夏季高温対策として実施した「屋根散水」の試験結果について報告があり、遮光資材と屋根散水の組み合わせにより、遮光資材のみと比較して最高で5℃低下し、収量も多い日で日量3割以上向上し、実施してよかったとの感想が聞かれました。

参加者からは、「これだけ増えてしまったコナジラミは個人防除では無理。みんなで防除に取り組むことが必要」、「天敵だけではウイルス病である黄化葉巻病対策は行き詰まる。次の対策を考えていくことも重要」などの声が聞かれ、有意義な研修会となりました。

普及センターでは、今後も警戒が必要な夏季高温などの異常気象に対応するため、情報を収集するとともに、管内の農業三士や専門家の力を借りながら病虫害対策について実証・普及を行い、経営体の経営改善を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター(成長産業)

